

研究インテグリティに関する状況について－G7 科学技術大臣会合と関連動向－

佐々木孝彦（東北大学金属材料研究所所長・教授，副理事（研究公正担当））

1. G7 仙台科学技術大臣会合の概要－研究インテグリティと研究セキュリティについて－ （内閣府 web サイト https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/g7_2023/2023.html）

・ G7 科学技術大臣コミュニケ

「研究インテグリティと研究セキュリティ対策による信頼ある科学研究の促進」について
（https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/g7_2023/230513_g7_communique.pdf）

・ 共同声明のポイント（内閣府 web サイトより抜粋）

「(3) 不正な知識・技術の移転や研究・イノベーションに対する外国からの干渉のリスクに対する認識を高め、必要な場合は低減措置を効果的に適用するために、更なる努力が必要」

・ 附属文書 Annex2 SIGRE

（https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/g7_2023/annex2_sigre.pdf）

・ その他の文書 G7 BEST PRACTICES FOR SECURE & OPEN RESEARCH (MAY 2023) G7 Security and Integrity of the Global Research Ecosystem (SIGRE) Working Group （https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/g7_2023/2023_bestpracticepaper.pdf）

2. G7 Security and Integrity of the Global Research Ecosystem (SIGRE)WG について

・ SIGRE WG の位置づけと役割－行政官とアカデミアの参画－

G7 首脳コミュニケ附属文書「研究協約」の公表（2021年6月 Cornwall, UK）

（外務省 web サイト <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100200013.pdf>）

・ 2つのサブワーキンググループ

○原則とベストプラクティスサブWG

期待される成果：

研究セキュリティとインテグリティにおける G7 共通の価値観と原則（文書）

研究セキュリティとインテグリティにおける G7 共通のベストプラクティス（文書）

○バーチャルアカデミーとツールキットサブWG

期待される成果：

バーチャルアカデミー（オンライン上のリソース集）

欧州委員会のプラットフォーム SINAPSE を利用

アクセス：政府機関および認定された研究機関に所属する者に限定
ツールキット（オンラインの研究者向けリソース）
バーチャルアカデミーの1つのフォルダ

アクセス：政府機関および認定された研究機関に所属する者に限定

○基本文書：

「研究セキュリティとインテグリティにおける G7 共通の価値観と原則」

https://www.bmbf.de/SharedDocs/Downloads/de/2022/220812-g7-sigre-paper.pdf?__blob=publicationFile&

3. SIGRE WG 開催例（2022 年 11 月—2023 年 4 月）

4. “Research Security and Research “Integrity” と「研究インテグリティ」について